

2017年11月23日

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

『スポーツ応援みかん』： えひめ国体・えひめ大会に協賛

GLOBAL GAP および ASIA GAP を、みかん・柑橘類では国内初で認証取得した 農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデンは、9月30日より開催された第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」、10月28日から開催される第17回全国障がい者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」で、『スポーツ応援みかん』を協賛しました。

八幡浜市で開催されたソフトボール成年男子、バレーボール成年男子、バレーボール精神障がい部門の選手および関係者、今治市で開催されたテニス少年女子の愛媛県代表選手に対し、「みかんジュース」と「みかん寒天ゼリー」、えひめ大会では追加として「温州みかん」も協賛しました。

当社は、これからもみかん農業経営を通じて、スポーツを応援し、みかんの新しい価値創造に努めて参ります。

<協賛内容>

- 1) 自然のめぐみ みかんジュース
- 2) みかん寒天ゼリー
- 3) 温州みかん（えひめ大会のみ）



<別紙詳細>

- 1) スポーツ応援みかんについて
- 2) GLOBAL GAP および ASIA GAP について

今後も引き続き、世界最高品質のみかんを目指して、おいしく、安心安全、高品位・高付加価値のみかんづくりを研究・実践し続けます。

当社は、お客さま、お取引先、従業員とその家族全ての生活者に、みかんを通じて喜んで頂きたいの想いがあります。また、みかんだけでなく、野菜果物の新しい価値創造に努めてまいります。

以上



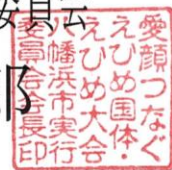
感謝状

農業生産法人
株式会社ミヤモトオレンジガーデン 様

あなた（貴団体・貴社など）は愛顔つ
なぐえひめ国体・えひめ大会への深い
ご理解のもと多大な協賛をされました
そのご厚意は市民一体となった大会開
催に大きく寄与するものであり
ここに深甚なる感謝の意を表します

平成 29 年 11 月 13 日

愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会八幡浜市実行委員会
会長 大城 一郎



1. 『**スポーツ応援みかん**』について・・・日本体育協会認定スポーツ栄養士 井上美詠 監修

トップアスリートが利用する「味の素ナショナルトレーニングセンター」の「勝ち飯®」食堂のメニューでは、常にかんきつが取り入れられるなど、最近のスポーツ栄養学の研究により、みかんやかんきつはスポーツに適した果物として、非常に注目されています。

1) 疲労回復

運動後30分以内に100%みかんジュースを飲むと、糖質とビタミンC、クエン酸の効果で筋グリコーゲンの回復が早くなり、疲れがとれやすくなります。

2) けがの予防・改善

ビタミンCが豊富に含まれるみかんは、コラーゲン生成を促進させ、靭帯や腱をしなやかにし、瞬発力をUPさせ、けがを予防します。

3) 貧血の予防・改善

毎日みかんを食べると、豊富なビタミンCが鉄分の吸収を促進させ、貧血の改善や予防に役立ち、持久力がUPします。

4) 免疫力UP

毎日みかんを食べると、ビタミンC効果、抗酸化作用で風邪予防に効果的です。

5) ストレスの軽減

ビタミンC効果と爽やかなみかんの香りのアロマ効果で、ストレスが軽減されます。



(えひめ国体：愛媛県代表 ソフトテニス少年の部女子の皆さん)

2. GLOBAL GAP および ASIA GAP 認証取得について

1) 農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデンは、2015年1月23日に GLOBAL GAP の認証を取得しました。

■ G G N : 4052852887250

■ GLOBAL G.A.P certificate No. Product

00033-VFVLF-0003 Mandarins 、 00033-VFVLK-0003 Oranges

■ 初回認証日 : 2015年1月23日 ■ 更新認証日 : 2016年11月16日

※**みかん・柑橘類**での GLOBAL GAP 認証取得は、当社が**日本初**となります。

2) 農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデンは、2016年11月4日に ASIA GAP (JGAP Advance 青果物 2016) へ認証更新を行いました。

■ 認証品目 : かんきつ、みかん

■ 認証登録番号 : MIC-S-380000007

■ 初回認証日 : 2015年1月7日 ■ 更新認証日 : 2016年11月4日

※**みかん・柑橘類**での ASIA GAP 認証取得は、当社が**日本初**となります。

また、**みかん・柑橘類**では、**現時点で唯一の認証農場**です。(JGAP 事務局:2017/8/22)

3) GLOBAL GAP / ASIA GAP について

①GLOBAL GAP は、国内唯一の国際標準の GAP (Good Agricultural Practices) で、

世界 124 カ国以上・18 万農場、日本は約 420 農場で認証取得。

②ASIA GAP は、JGAP がアジア共通のプラットフォームになるべく GFSI 承認の国際規格を目指しているスキーム。

③**食品安全・環境保全・労働安全・人権**に取り組む農場、**第三者認証**で毎年更新が必要。

④2020 年の**東京オリンピック・パラリンピック**組織委員会は、選手村等で提供される食材の調達基準に GLOBAL GAP や ASIA GAP 等の認証取得が必須になる見通しである。